

# 平成26年度 学校自己評価システムシート(県立深谷商業高等学校 情報会計専攻科)

目指す学校像	本校の輝かしい歴史と伝統の上に立ち「至誠・士魂商才」の校訓のもと、中学生が「行きたい学校」、企業が生徒を「採用したい学校」、地域が「支えたい学校」、生徒が「明日もまた行きたい学校」、先生方が「働きたい学校」をめざす。
--------	--

達成目標	1 商業に関する知識と技術をバランスよく備えた人材を育成する。 2 関係機関との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。 3 専攻科の特性を生かした進路指導の充実を図る。 4 生活指導を充実させ精神の修養を図る。
------	--

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策, 方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	5名

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価				
年 度 目 標				年 度 評 価( 2 月 1 日 現 在)					
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生会計コースは、会計のスペシャリストの育成のため、専門知識や技術の習得と高度専門資格の取得に向けた学習活動に専念している。</li> <li>1年生からコースを統合し、新たな教育課程に基づき授業が展開され情報処理と会計等に関する実践的な知識と技術をバランスよく学習している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科指導力の向上のため、教員等が研鑽と修養に励んでいるか。</li> <li>学生が目的意識を持って学習に取り組んでいるか。</li> <li>専攻科の新たな学習指導の状況はどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定取得に傾注した学習体制から脱却し、学習に対する意識を変えるため、学習の基礎基本を理解させる指導方法を常に工夫・研究する。</li> <li>就職後の仕事で役立つ「実」のある授業を展開し、学習意欲を高める学習活動を実践する。</li> <li>少人数教育を活かした指導を実現するため、発問や対話により授業へ参加させ、学生自ら考える授業を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より実践的・実務的な指導を目指した授業が展開されているか。</li> <li>学生の学習状況を把握できているか。</li> <li>学生の努力状況に応じた資格取得が適切に行われているか。</li> <li>各学生への発問や対話を、バランスよく取り入れているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2年生(3名)は、会計コース最後の学生として次のような結果を残した。 日商簿記検定1級2名 STEP英検2級1名準2級1名 税務会計消費税法1級全員 所得税法1級1名・2級2名 法人税法1級全員</li> <li>1年生(5名)は、新教育課程に基づき資格取得重視から「実務, 実践, 実学」を重視した授業へと移行している。 医事コンピュータ検定3級全員 日商簿記検定3級全員</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度をもってコース制がなくなるため、専攻科の新たな教育理念と学校教育目標を明確にする必要がある。</li> <li>次年度は新教育課程の完成年度であり、学校目標の実現に向けた授業体系を完成する必要がある。少人数教育の強みを活かし、職員が協力し、こまめに連絡を取り合いながら議論を深めていきたい。</li> </ul>	平成27年2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>コース制を廃止したが、専攻科の特色を失うことなく実学が身につく学習指導をしてほしい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>実務家等である特別非常勤講師の協力を得て、教育力の向上に取り組んでいる。</li> <li>育友会組織と連携を図り、保護者や学生の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進している。</li> <li>専攻科と高校との連携・接続の在り方について、関係各校との情報交換を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校に不足している点を補い成果を評価するため、関係各機関との適切な連携を図れたか。</li> <li>保護者の意見を反映できる場として「育友会」が機能しているか。</li> <li>学生の現状や本校に対するニーズや期待を把握しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育友会役員をはじめ、保護者が学校と関わる機会を設ける。</li> <li>学校見学会や説明会を早期から開催し、高等学校への訪問先や郵送による広報活動を行う。</li> <li>新たにホームページを作り直し積極的に学校情報の公開を図る。</li> <li>学生の希望を取り入れ機会を作るため学生と面談の機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会の案内を配布したか。</li> <li>育友会役員や保護者の学校行事等への参加状況はどうか。また、意見の取入れは行ったか。</li> <li>高校訪問やパンフレット等の送付をどれくらい実施したか。</li> <li>学校説明会の実施と参加状況はどうか。</li> <li>ホームページの更新は行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生募集活動を積極的に行い、専攻科が新たな教育課程へ移行したことを周知した。</li> <li>学校案内配布20校以上 学校訪問回数約15校 学校説明会開催7回</li> <li>育友会総会後に担任と保護者による面接の機会を設け、相互理解の場を設けた。</li> <li>育友会役員の皆様に入学式、総会、修了式へ参加いただき、多大なるご協力をいただいた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度はご協力いただける特別非常勤講師が大幅に減少する。よって、新たに職員と講師による協力体制を作る必要がある。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>専攻科の特色が認知されていない。取組について積極的な情報発信をしてほしい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の学習活動を踏まえ、2年生は、会計コースの専門性を活かした分野への就職や進学の実現を図る進路指導を行っている。</li> <li>多方面にわたる就職先をより多く確保するため、ハローワークとの協力関係を一層深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習状況に連動した進路指導は行われているか。</li> <li>就職活動の取組みについて適切な進路指導をしているか。</li> <li>学生がハローワークを利用しやすい環境を確保しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職ガイダンスを早期に実施し、就職難に対応する。</li> <li>企業見学会や就職セミナーに積極的に参加させる。</li> <li>必要に応じ個別面接指導を行う。</li> <li>特別非常勤講師のご協力の下、進路連携が図れるようにする。</li> <li>ハローワークとの連絡調整を密にし、就職先の確保をより積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内ガイダンスを開催して進路に関する適切な情報を説明したか。</li> <li>企業見学会やセミナーの参加報告を提出させ、確認したか。</li> <li>就職希望者全員に面接指導を実施したか。</li> <li>特別非常勤講師等からの就職先の紹介や協力はあったか。</li> <li>ハローワーク等を活用した就職の機会を提供できたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担任による適切な進路指導と関係機関のご協力により年内に全員の進路が決定した。 就職2名 大学進学1名(学費免除)</li> <li>1年生は進路(仕事)への意識を高めるため授業での専門知識・技術の習得に加え、新聞購読、読書、筆記練習、語彙訓練、発表練習、学習記録の提出等の基礎学力の養成を実施している。</li> <li>現在、1年生4/5名がインターンシップへ参加</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新教育課程では学習内容が変わり習得できる専門性が従来と異なるため、その特性に応じた新たな就職先を開拓しなければならない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>専攻科の進路指導は難しさがあるようだが、専門性、資格取得を活かした進路指導を継続してほしい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に出る前の準備教育として、社会人として好ましい態度と自覚を深めるための取り組みをしている。</li> <li>在学中や進路先で心身ともに健康で健全な生活を送れるように、学校行事や日常の活動を通じて健康増進や体力向上に取り組めるような組織的で計画的な活動が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活全般を通じて、コミュニケーション能力やビジネスマナーが向上するよう働きかけたか。</li> <li>自己の健康管理に対する意識付けにより、自らの健康を守る態度が身についているか。</li> <li>適時、適切に、学校行事や健康増進に向けた取組みは行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活全般を通して、対職員、対学生への挨拶を習慣化させる。</li> <li>上級生主導により清掃活動に取り組ませ、能動的清掃活動を実施する。</li> <li>「職員室当番」を実施し、特に特別非常勤講師への対応を通じて接遇マナーを学ばせる。</li> <li>体力向上と健康管理に対する意識を高めるため、運動を定例化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の垣根を越えた交流は図られ学生同士の挨拶の習慣は見られたか。</li> <li>清潔で、明るく、秩序ある学校生活環境が維持されているか。</li> <li>接遇マナーが身に付き、職員や講師に対して適切な態度や会話が行われているか。 (場を清め、時を守り、礼を正す)</li> <li>運動の定例化と学生の参加率が向上に向けた職員の協力が得られたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活全般を通じ挨拶習慣が定着し、校内に好ましい秩序が醸成されている。</li> <li>上級生を中心に学生主体で校内美化が図られた。</li> <li>2年生は特別非常勤講師への対応を通じてビジネスに即したマナーの基礎を習得した。</li> <li>体力向上のため放課後のランニング等、体力向上の機会を設けた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成の観点から、学生の自主性に基づいた、より能動的な取組みが必要である。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマナー指導は成果が出ている。専攻科の特色の一つとして継続してほしい。</li> </ul>